

基本構想の視点「ひと」

心身の健全な発達・学力の定着

- 学校内の多様性が求められている。
- 中学校のレベルが低くて行かせたくないという意見を聞く。底上げが必要。
- 学力と地域に関連を感じる。
- 優秀な児童・生徒を更に伸ばす施策

教育施設の整備・学校運営

- 教職員の負担が大きい。
- 保護者が学校に丸投げし過ぎている。
- NPO などいろいろな団体や人が関わってほしい。
- 便利さを学校に求めてしまっている。
- 学校格差の解消
- 底上げが必要な学校には良い人材を配置する。
- スクールハラスメント対策

課題を抱える子どもへの支援

- 子どもの居場所がなくなっている。
- 子どもの第3の居場所（サードプレイス）
- 支援者から声をかけることで本当の悩みや困りごとが分かる。
- コロナ禍による環境の変化、不登校の増加
- グレーゾーンと言われる層への支援
- 特別支援学級の充実
- 家庭の財政への支援
- 親同士をつなぐ場を大事にする。

- 不登校・ひきこもり対策は、当事者同士が悩みを出し合い、居場所を広げていく取組みを強めていく。本当に困っている人に手が届く取組みが必要。
- ひきこもりであってもインターネットでコミュニケーションをとっていたりする。オンラインでのアプローチ・支援ができないか。
- 仮想のフリースクール、学校以外の居場所に対するニーズは大きい。

妊娠・出産・子育てへの切れ目ない支援

- 中間所得層が出産、子育てをしやすくなるまち
- 困難があったときに相談できるような関係を作っていく支援
- こども基本法、こども大綱に基づいて行っていく必要がある。
- 本当に必要な人に支援が届いているのか。アウトリーチ型の支援を強めていく必要がある。

子育てと仕事の両立支援

- 待機児童は0となっているが、保護者にとっては保活が過酷なため、解決する必要がある。
- 学童保育室を増やしていく。学校の中に学童保育室を作るといった学校内で放課後を過ごせるようにすることが大事。

男女共同参画社会

- 男女の家事・育児分担がよく話し合われていない。
- 家庭内男女共同参画が必要。
- 男性ゆえの生きづらさ
- ジェンダー平等社会の推進

文化・芸術・スポーツ活動など

- 小・中学生の吹奏楽などは活発で、さらに突き出していく支援をしていくのが良いのではないかな。
- スポーツは強いが、施設が不足している。さらに進めていくには整備も必要ではないかな。
- 文化に関する分野で発表の場が少ないことなども問題。
- まちぐるみのアートフェスティバルは発展していくと感じる。
- イベントが単発になってしまっている。回るような仕掛けや連携が良いのではないかな。

多文化共生社会

- 外国人の方にも日本での居住に関する知識を知っていただくことが必要。
- 日本語を理解できる人が身近にいないと孤立したり、災害時の避難に支障が出てしまう。
- 子どもに対する日本語教室だけでなく、親にも視点を当てることが大切。

基本構想の視点「行財政」

協創・地域活動

- 行政がやり過ぎと感じるので、NPO 等と一緒に協創していくことが必要。
- NPO 等とは契約当事者の関係（委託元と委託先）になってしまっている。
- NPO 等を再度、行政で育てていく。
- 行政に協創が生まれる場を作してほしい。
- 町会に入る以外でも、地域で活動したい人がいて、それが新しい地域コミュニティになる。
- 地域活動は町会だけでなく、いろいろな人たちが行っている。その視点も必要ではないかな。
- 例大祭など地域の活動にもう少し行政が関わっても良いのではないかな。

情報発信・区のイメージ

- 区の発信する内容には難解な言葉が多く、上を向いてしまっているように感じる。
- いろいろなチャンネルで情報発信することで、いろいろな層からアクセスしてもらえるようになる。
- 治安が悪いイメージがある。徹底的に改善していくことが必要ではないかな。
- 北千住が住んで良かったまちになっている。よりイメージを上げていくことが重要ではないかな。
- 広報大使などの活用はどうか。
- いろいろな活動があり、元気な団体もある。区外に上手くアピールできると良い。

公有財産の活用

- 公共施設の在り方について、居場所や若い人の視点、長寿命化など複合的なことを考える必要がある。
- 駅前の図書館や大きいホールなどの文化施設があると良い。
- 施設の再配置の中でより良くすることができるのではないかな。
- 小学校の中の図書室を解放している自治体もある。少子高齢化によって将来的に小学校を使わなくなる可能性もあるので、もっと効果的に使うことを検討すべきではないかな。

自主財源の確保

- ネーミングライツを実施している自治体もある。
- ギャラクシティなど、区民以外の利用者に対して利用料を有料にするのはどうか。施設が古いままではイメージダウンにもなってしまふ。
- もう少し寄付の募り方の工夫ができるのではないかな。クラウドファンディングを活用している自治体もある。
- ふるさと納税は寄付だけではなく、自治体のショーケースの側面があるので、区の PR を強化するべきではないかな。

戦略的な人事管理・組織運営

- どれだけ足立区に良い人材を揃えられるかが重要。
- やりがいのある、働き甲斐があるといった支援策
- 政策コンテストや改善コンテストなどモチベーションになる施策
- 適切な評価
- 組織が縦割りになっているのではないかな。組織が多すぎるように感じる。

その他

- 他自治体と給付合戦になってもいいので、他区市町村より上乗せした施策をする。
- 中間層にも届く施策が少ない。
- 予算をかけなくてもソフト面で質を上げる。
- 民間を圧迫するような施策ではなく、地域の事業者にも利益のある施策が必要。
- 無駄な施策の廃止が必要。
- 内容や対象を絞らずに、届かない声を拾っていくといったアウトリーチ型の支援
- インクルーシブ公園の充実
- レジリエンスがキーワードになってくるのではないかな。いろいろな人が幸せに暮らすまち
- 誰にでも住みやすいまち
- 今までは安心という方向が強かったが、活力・活性化ということが必要ではないかな。いろいろな主体的な活動がうねりになって区の活力になっていくと良いと感じる。
- 企業誘致を重視した方が良いのではないかな。
- 北千住駅の乗客数は秋葉原駅と同程度であるが、活かしきれていない。